

平成25年度進行管理・評価シート
恵那市歴史的風致維持向上計画（平成23年2月23日認定）
（最終変更平成24年3月30日）

□進捗評価シート(様式1)

①組織体制(様式1-1)		
1 計画実現のための体制	1
②重点区域における良好な景観を形成する施策(様式1-2)		
1 景観形成に関する取組みについて	2
③歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項(様式1-3)		
1 岩村藩鉄砲鍛冶加納家取得・修理事業	3
2 岩村城石垣修理事業	4
3 木村邸整備事業	5
4 岩村城下町まちなみ保存事業	6
5 祭礼復興事業(武並宮御祭礼規定に基づく祭礼)	7
6 歴史的町並み修景整備助成事業	8
7 ポケットパーク整備事業	9
8 道路美装事業	10
9 中山道保存修景整備事業	11
10 案内板設置事業(宿場町大井地区)	12
11 ふるさと文化普及継承事業	13
12 歴史まちづくり推進事業	14
④文化財の保存又は活用に関する事項(様式1-4)		
1 文化財の修理(整備を含む)	15
2 文化財の防災	16
3 文化財の普及・啓発	17
⑤効果・影響等に関する報道(様式1-5)		
1 (報道等タイトル名)	18

□総括評価シート【方針の達成状況等】(様式2)

①計画に記載している方針(様式2-1)	19
---------------------	-------	----

□総括評価シート【代表的な事業の質の評価】(様式3)

①歴史的風致維持向上施設の整備・管理(様式3-1)	24
---------------------------	-------	----

□法定協議会等におけるコメントシート(様式4)	26
-------------------------	-------	----

評価軸①-1
組織体制

	評価対象年度	平成25年度
項目	現在の状況	
計画実現のための体制	<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手	

計画に記載している内容 歴史まちづくり事業は、歴史、文化、観光、建設、都市整備等の多岐の分野に関連するため、本市では「歴史まちづくり連絡調整会議」を設置し、関係課(事業担当部課)間の横断的な連絡調整を行うものとする。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

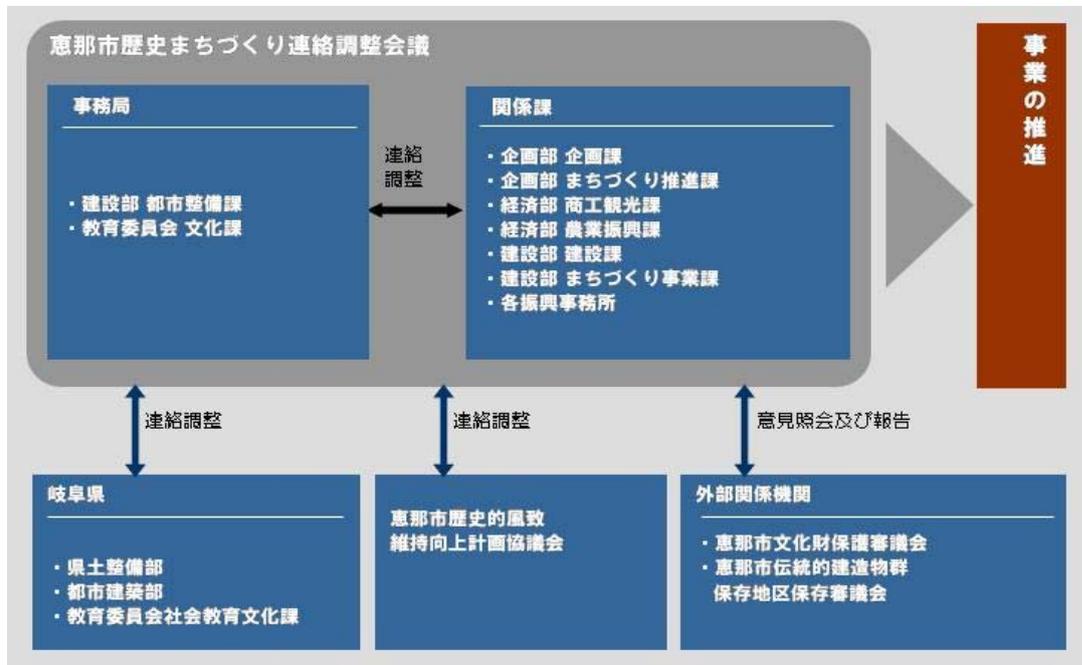
都市整備課・文化課等関係課から構成される「歴史まちづくり連絡調整会議」を随時開催し、関係課間との連絡調整、事業施工に関する打合せを行った。
 恵那市歴史的風致維持向上計画協議会については、H26.5.15に実施し事業の評価を行った。

進捗状況 ※計画年次との対応

実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)

- 計画どおり進捗している
- 計画どおり進捗していない

状況を示す写真や資料等



【恵那市歴史的風致維持向上計画協議会】

平成26年5月15日 開催

審議事項 平成25年度歴史的風致維持向上計画の進行管理・評価について
 歴史的風致維持向上計画の総括評価について
 社会資本総合整備計画(中山道宿場町大井地区)について

評価軸②-1

重点区域における良好な景観を形成する施策

		評価対象年度	平成25年度
項目		現在の状況	
景観形成に関する取組みについて		<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手	
計画に記載している内容	景観法に基づく景観計画の策定に向けて、平成20年度より庁内関係部課、学識経験者及び地域住民等で構成する景観計画策定委員会にて恵那市全域の方針や規制の検討を行うとともに、平成21年度からは、地域住民等で構成する地域ワークショップの開催等を通じて地域毎の景観の形成に関する基本方針や行為の制限について併せて検討を行っている。		
定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で			
恵那市景観条例、恵那市景観条例施行規則の施行(平成24年4月1日施行)。内、行為の届出に関するこの規定は、平成24年10月1日から施行した。 平成25年度の行為の届出件数は、事前協議件数36件、届出件数12件(平成26年3月31日現在)があった。 平成25年度は景観審議会にて、景観重要建造物・景観重要樹木の指定に向けたアクションプランと、屋外広告物条例の制定に向けた検討の審議を行った。 ・恵那市景観審議会 平成25年7月26日、10月25日開催 ・恵那市景観審議会屋外広告物部会 平成25年10月9日、平成26年1月16日開催			
進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)		
<input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり進捗している <input type="checkbox"/> 計画どおり進捗していない			
状況を示す写真や資料等			
		<p>【平成25年度第1回審議会】</p> <p>次第</p> <p>報告事項1 恵那市景観条例の運用状況について</p> <p>報告事項2 市内各地での取り組み</p> <p>審議事項1 市立恵那病院再整備事業について</p>	

評価軸③-1

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

		評価対象年度	平成25年度
項目		現在の状況	
岩村藩鉄砲鍛冶加納家取得・修理事業		<input checked="" type="checkbox"/> 実施済 <input type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手	

事業期間 平成22年度～平成25年度

支援事業名 歴史的環境形成総合支援事業
 社会資本整備総合交付金(都市再生整備計画事業)
 市単独事業

計画に記載している内容 重要伝統的建造物群保存地区から少し離れた場所に位置しているが、この建造物の周囲は旧武家町であることから、取得修理を行い、公開することで、重点地域内の回遊性の向上に寄与し、歴史的風致の維持及び向上を図るとともに町の魅力を高めることができる。
 事業概要:土地(取得)637.62㎡ 建物(寄付)主屋1階180.59㎡2階52.99㎡ 土蔵1階29.19㎡2階20.14㎡ 離れ42.22㎡の修理

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

平成25年度は、24年度に引き続き修理工事を実施。建物本体は平成25年7月末に完成した。
 平成26年3月末現在の進捗率100%。地域のまちづくり組織を指定管理者として平成26年4月から一般公開を行う。

進捗状況 ※計画年次との対応 実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)

計画どおり進捗している
 計画どおり進捗していない

状況を示す写真や資料等



加納家外観・修理前



加納家外観・修理完成後



修理後の主屋内部



修理後の浴室棟・五右衛門風

評価軸③-2

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

項目	評価対象年度	平成25年度 現在の状況
岩村城石垣修理事業		<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手

事業期間 平成23年度～平成31年度

支援事業名 市単独事業

計画に記載している内容
 標高717mの急峻な山の頂に築造された近世山城の代表・岩村城を支えてきた石垣である。これまで修理が行われてきたが、木根や流水等によって石が浮いたり、孕んだりしている箇所も見られ、一部、崩壊の危険性の高い箇所も見られる。本石垣は、本丸等が無くなった現在においても、城下町の形成と発展を牽引してきた岩村城の基礎として、地域の歴史を物語る大きな拠り所となっている。当事業により石垣の修理を行うことで、地域の歴史的風致の維持を図ることができる。
 事業概要:発掘調査の後、崩壊の危険性の高い石垣の修理(対象面積:約300㎡)。石垣支障木の伐採。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

平成25年度は、引き続き障害木の伐採を行う予定であったが、8月31日の大雨災害により城跡への進入道路の一部が崩落通行止めとなった。復旧は3月末で、本年度中は作業用車両の乗り入れが不可能なため事業はとりやめとした。
 なお、地域のボランティアによる草刈り・清掃作業は予定通り行われ、その際に石垣に生えた雑草等の除去は実施した。

進捗状況 ※計画年次との対応 実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)

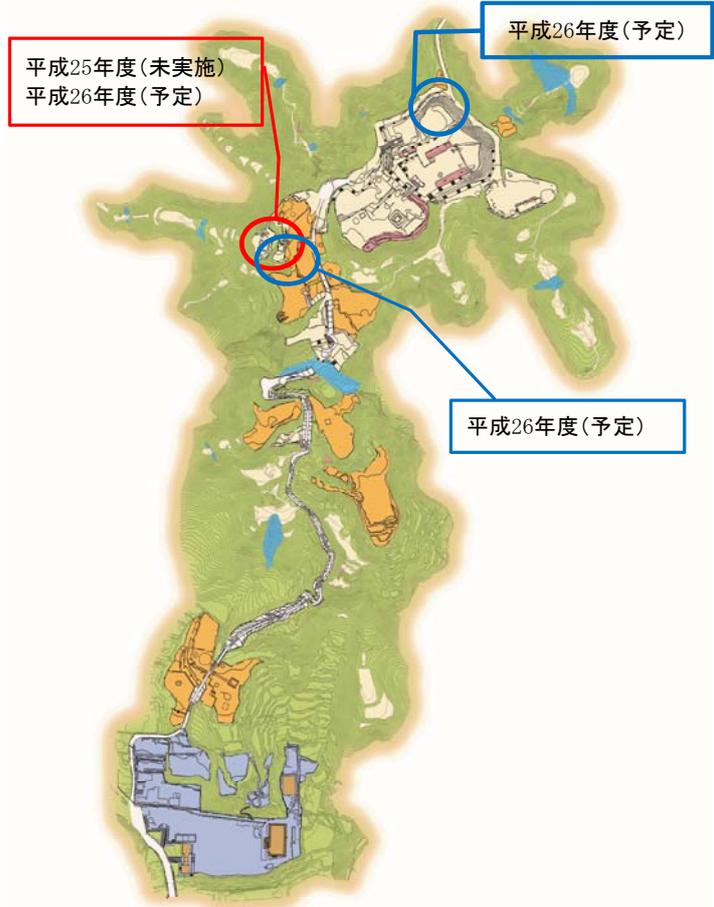
計画どおり進捗している
計画どおり進捗していない
 平成25年度に実施できなかった箇所については、平成26年度に実施する。

状況を示す写真や資料等

清掃終了後の岩村城ミニ勉強会



草刈清掃作業



評価軸③-3

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

		評価対象年度	平成25年度
項目		現在の状況	
木村邸整備事業		<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手	

事業期間 平成23年度～平成26年度

支援事業名 文化遺産を活かした地域活性化事業

計画に記載している内容
 本住宅は、地域の歴史文化を物語り、重要伝統的建造物群保存地区内でも最も市民や観光客の関心を引く建物であり、歴史的風致を形成する重要な資源の一つとなっている。当事業により建築物を修理することで、地域の歴史的風致の維持を図ることができる。また、本住宅は、現在一般公開を行っているが、今後は企画展等を行い、地域の歴史文化を紹介していくことで、歴史的風致を担う市民への意識向上を図っていくものとする。
 事業概要:敷地面積826㎡ 床面積718㎡ 木造3階建 土蔵及び離れの修理、改修、増築部分撤去、火災報知機設置。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

主屋及び離れの修理を実施した。
 主屋は南面の増築部分を撤去し、外壁外面を復原した。離れは大屋根を葺き替え、軸組みの部分補修を行った。

進捗状況 ※計画年次との対応 実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)

計画どおり進捗している
計画どおり進捗していない

状況を示す写真や資料等



主屋増築部分撤去修理中



離れ屋根葺き替え修理

評価軸③-4

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

	評価対象年度	平成25年度
項目	現在の状況	
岩村城下町まちなみ保存事業	<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手	

事業期間 平成22年度～平成31年度

支援事業名 国宝・重要文化財等保存整備費補助金
市単独事業

計画に記載している内容 重要伝統的建造物群保存地区内の歴史的建造物に対し、修理修景に助成を行うことにより、後継者不足や修理費用の負担、また火災等の災害による歴史的建造物の滅失・荒廃といった課題を解決し、歴史的建造物を保護することで、歴史的風致の維持向上を図る。
事業概要:重要伝統的建造物群保存地区内の家屋の保存修理、防災事業等。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

伝統的建造物3件の修理に助成を行った。
主な家屋修理内容(屋根葺替え、外壁張替え、実施設計等)

進捗状況 ※計画年次との対応 実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)

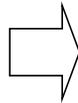
計画どおり進捗している
計画どおり進捗していない

状況を示す写真や資料等

屋根・外壁面の修理により町並み景観に調和した家屋



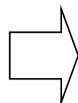
修理前



修理中



修理前



修理後

評価軸③-5

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

		評価対象年度	平成25年度
項目		現在の状況	
祭礼復興事業(武並宮御祭礼規定に基づく祭礼)		<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手	

事業期間 平成22年度～平成31年度

支援事業名 市単独事業

計画に記載している内容
 毎年10月第1週の土曜日から日曜にかけて行なわれる「岩村町秋祭り」は、岩村城を築いた加藤景廉の子である景朝のご神体を神輿に乗せ、時代衣装を身にまとった総人員約300人が長さ300mに及ぶ行列を整え武並神社を出発し、岩村町本通り(重要伝統的建造物群保存地区)約1.7kmを練り歩き、景廉が祀られている八幡神社に運ぶ。翌日、神輿は再び行列によって武並神社に帰る。行列の役割・内容などは、嘉永5年の「武並宮御祭礼規定」にある次第から変化しておらず、行列中の御神馬に使用する飾馬具類は、天保の頃のものを使用されていることから傷みが目立っている。祭りに使う衣装類の計画的な整備を行うなど、地域で長年受け継がれている伝統行事を支援することで、歴史的風致の維持向上と地域住民の景観形成や歴史文化に対する意識の向上を図る。
 事業概要:岩村町秋祭り行事の祭礼衣装等の整備。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

祭具・衣装の修理については、祭具修理・交換と不足分の補充、衣装修理・交換と不足分補充を行った。また岩村町秋祭り行事の行事運営について助成を行った。

秋祭り行事で演じられる岩村町獅子舞の保存活動を行う2団体に対して伝承活動助成を行った。

進捗状況 ※計画年次との対応 実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)

- 計画どおり進捗している
- 計画どおり進捗していない

状況を示す写真や資料等

岩村町秋祭り行事の「神輿渡御行列(みこしとぎょぎょうれつ)」
 約380年続く伝統的な行列が練り歩く



秋祭り 神輿渡御行列(みこしとぎょぎょうれつ) 打ち囃子



地区内の辻々で行う郷土芸能 岩村町獅子舞

評価軸③-6

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

	評価対象年度	平成25年度
項目		現在の状況
歴史的町並み修景整備助成事業		<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手

事業期間 平成24年度～平成31年度

支援事業名 市単独事業

計画に記載している内容
 中山道の宿場町としての面影を残す大井宿周辺の建造物等について、所有者等が行う修復・修景事業の一部を助成し、町並み景観の向上を図り、連続性を向上させ歴史的風致の維持及び向上に寄与する。
 事業概要:宿場町大井地区内の大井宿周辺の建造物等について、平成24年度に建造物の悉皆調査とガイドラインの作成を行う。平成25年度から、ガイドラインに沿って、建造物等の修復・修景事業に対して助成を行う。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

大井宿周辺の建造物等について、景観まちづくりワークショップ(全4回:6/15、8/3、8/31、10/5)にて、調査、まちあるきを行った。

ガイドラインの作成、修復・修景事業の助成に対する要項については、引き続き実施、作成していく。

進捗状況 ※計画年次との対応

実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)

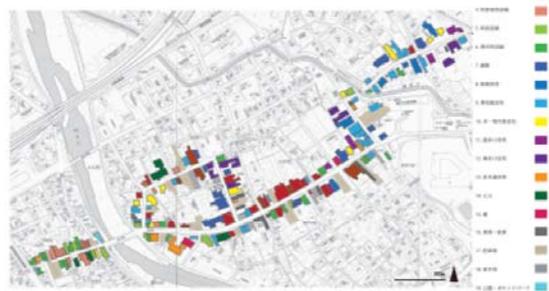
計画どおり進捗している
計画どおり進捗していない

ガイドラインの作成に関して、住民との合意形成を図りながら慎重に進めていく。

状況を示す写真や資料等

■大井町の建物タイプの現況

中山道大井宿エリアには、中山道の面影を残す歴史的な建物から現代的な建物まで、様々なタイプの建物がありました。この調査では町家、改修町家、現代的住宅など、18タイプに分類して地図に示しています。



中山道沿いのまちなみは、様々なタイプの建物で構成されています。建物の写真を並べて下のような連続立面図を作ってみると、通りごとに異なった特徴が浮かび上がってきます。



■景観資源となる水路の現況

大井宿周辺には、阿木川から取水した水路が張り巡らされています。かつては日常生活の中で利用され、水の流れを見ることができましたが、現在は多くが葺きをされたり埋設され、水の流れが確認できる場所は限られています。しかし水のある小運は今後のまちづくりの景観資源として活用が期待できます。



改修調査



まちあるき

評価軸③-7

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

		評価対象年度	平成25年度
項目		現在の状況	
ポケットパーク整備事業		<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手	

事業期間 平成25年度～平成27年度

支援事業名 市単独事業

計画に記載している内容 宿場町大井地区内の中山道沿道の空き地となっている土地の中から土地を取得し、ポケットパークとして整備する。このことにより、町並みの連続性を生み出すとともに、トイレやベンチ、案内板を設置することにより、来訪者や地域住民の利便性の向上を図り、歴史的風致の維持及び向上を図り、歴史的風致の維持及び向上を図る。
 事業概要:宿場町大井地区内の中山道沿道の空き地となっている土地の中から土地を取得し、来訪者や住民にわかりやすい総合案内板と利便性を向上させるためベンチやトイレを設置したポケットパークを整備する。また町並みの景観に配慮した植栽などについて検討を行う。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

大井町景観まちづくりワークショップ(全4回:6/15、8/3、8/31、10/5)を開催し、ポケットパークの活用方法や管理方法、整備方針について検討を行った。

進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)
<input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり進捗している <input type="checkbox"/> 計画どおり進捗していない	

状況を示す写真や資料等

大井町ワークショップの様子



提案された機能を図示



評価軸③-8

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

		評価対象年度	平成25年度
項目		現在の状況	
道路美装事業		<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手	

事業期間 平成25年度～平成27年度

支援事業名 市単独事業

計画に記載している内容
 宿場町大井地区内の中山道は、石畳による道路整備や道路美装が行われているが、経年劣化に伴い大変傷みが進んでいるため、建造物の修景と併せて道路美装を行う。このことにより、歴史的町並みの景観の向上を図り、歴史的風致の維持向上を図る。
 事業概要：昭和62年に大井宿内中山道についての石畳化事業が行われた。中山道を石畳化することにより大井宿の特徴である枡形の遺構を明確化するものであったが、枡形全てが石畳化されておらず、中山道がどこであるのか非常に分かりにくい状況である。また石畳についても老朽化しておりアスファルトの埋め込みで補修している箇所がたくさんある状況である。
 中山道を明確化するとともに、来訪者や住民が安全に散策できるようにするため、道路美装化を行う。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

大井町景観まちづくりワークショップを開催し、施工内容(安全性などの道路のあり方)について検討した。
 中山道路面舗装調整会議を開催し、道路美装について検討を行った。
 (文化課、建設課、上下水道課、都市整備課、商工観光課、まちづくり推進課)

進捗状況 ※計画年次との対応

実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)

計画どおり進捗している
計画どおり進捗していない

幅員の狭い道路での歩行者の安全確保を図るための工法について引き続き検討を行っていく。

状況を示す写真や資料等

老朽化した石畳の歩道



大井町ワークショップの様子



中山道路面舗装調整会議(2月13日)



評価軸③-9

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

		評価対象年度	平成25年度
項目		現在の状況	
中山道保存修景整備事業		<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手	

事業期間 平成22年度～平成31年度

支援事業名 市単独事業

計画に記載している内容
 中山道は、江戸時代の五街道の一つであり、大湫(瑞浪市)以东、藤村・竹折村・久須見村四ツ谷・中野村を経て、美濃十六宿の一つ大井宿に至り、ここより茄子川・千旦林を通り中津川宿を抜ける。この行程中、中野・大井あたりは平坦地で、通行する幕府や諸藩の諸荷物や参勤交代行列、一般の人馬の宿泊・休憩所として賑わった。現在も中山道は来訪者が多く訪れ非常に親しまれている街道であるとともに、七日市や渡御行列が行われる重要な場所でもある。この中山道を良好に保存し環境整備をすることにより、歴史的風致の維持向上に寄与する。
 事業概要:中山道沿線の草刈り、利便施設の維持管理に対する助成を行う。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

中山道沿線の利便施設(基平坂公園、西行硯水公園、西行苑、深萱立場、四ツ谷休憩所)の維持管理を行っている沿線4地区の保存会の維持管理や活動に対する助成を行った。

進捗状況 ※計画年次との対応

実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)

- 計画どおり進捗している
- 計画どおり進捗していない

状況を示す写真や資料等



沿線の清掃活動
(武並地区中山道保存会)



ウォーキングイベント時のおもてなし活動
(中山道岡瀬沢保存会)

評価軸③-10

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

		評価対象年度	平成25年度
項目		現在の状況	
案内板設置事業(宿場町大井地区)		<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手	

事業期間 平成25年度～平成27年度

支援事業名 市単独事業

計画に記載している内容
 文化財や歴史的建造物等を紹介し、物語性を加えて誘導案内することで、点在する文化財等を有機的に繋げ、来訪者の回遊性を高めて、地区の歴史的風致の情報発信を効果的に行うなど、歴史的風致を生かしたまちづくりを進めることが可能となる。
 またこうした取組みを行うことで、地域住民の歴史文化に対する意識の高揚を図り、歴史的風致の維持向上を図る。
 事業概要:設置時期等により、様々なデザインとなっている案内看板について、歴史的な町並みへの景観に配慮し、統一的なデザインで新設・改修する。
 設置にあたっては、来訪者や市民の回遊性を向上させるために、設置位置についても配慮する。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

大井町景観まちづくりワークショップ(全4回:6/15、8/3、8/31、10/5)を開催し、大井町散策ルートの検討、現状の看板の状況と設置する案内板のデザイン等について検討した。

進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)
<input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり進捗している <input type="checkbox"/> 計画どおり進捗していない	

状況を示す写真や資料等



老朽化した現在の案内板



大井町ワークショップの様子



評価軸③-11

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

		評価対象年度	平成25年度
項目		現在の状況	
ふるさと文化普及継承事業		<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手	

事業期間 平成24年度～平成31年度

支援事業名 市単独事業

計画に記載している内容
 宿場町大井地区を中心として、文化財等の文化遺産について、広く市民、来訪者に啓発することにより、歴史文化に対する意識の向上を図る。また、祭礼行事や歴史文化に関する伝承や後継者を育成することにより後世に渡って良好な歴史的風致を維持することができる。
 事業概要:文化財等の保存・活用に関わっている団体やまちづくり協議会等の地域組織と連携をとりながら、文化財等の普及啓発活動を行う。また、地域住民や学校などに働きかけイベントや講習会の実施、歴史遺産の調査を行うことで歴史文化に関心をもっていただくとともに、後継者の育成に努める。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

中山道かたりべ講座では、地区内の民俗芸能(御所の前の送り神、浅間七福万歳、武並神社渡御行列)の見学や古文書解読を実施した。また大井宿内の明治天皇大井行在所で雅楽演奏会を実施し、伝統芸能に触れる機会を提供した。
 地区内の小学校では、地域の伝統芸能(大井文楽、浅間七福万歳)や日本の伝統芸能(茶道、琴、太鼓)が総合学習で年間を通じて行われた。

進捗状況 ※計画年次との対応

実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)

- 計画どおり進捗している
- 計画どおり進捗していない

状況を示す写真や資料等



中山道かたりべ講座の古文書解読(上左)と雅楽演奏会(上右)。いずれも明治天皇大井行在所で実施



小学校の総合学習で大井文楽(大夫・三味線・人形遣い)を体験

評価軸③-12

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

	評価対象年度	平成25年度
項目	現在の状況	
歴史まちづくり推進事業	<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手	

事業期間 平成24年度～平成27年度

支援事業名 市単独事業

計画に記載している内容
 地域住民と行政が協力して歴史的な町並みやまちの活性化に繋がる事業を立案、実施することにより、歴史的風致を幅広く、総合的に維持向上していくことができ、またこうした取組みを行うことで、地域住民の歴史文化に対する意識の高揚を図ることができる。
 事業概要:宿場町大井地区を中心に、地域住民からの歴史的風致維持向上のための町並み形成、また地域の活性化に繋がる提案事業について支援を行う。また、必要な調査についても出来るだけ地域住民も参加して行うなど計画段階から地域住民とともに立案していく。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

大井町景観まちづくりワークショップを開催した。このワークショップを通して、ポケットパークの活用方法等を検討し、「まちのビジョンを実現するための行動計画」について具体的に議論することができた。実際にまちあるきをして、文化資源を再発見・再発掘することにより歴史文化意識が高まった。

進捗状況 ※計画年度との対応

実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)

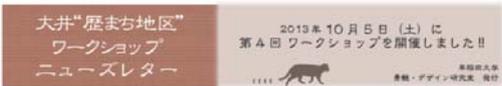
計画どおり進捗している
 計画どおり進捗していない

状況を示す写真や資料等

大井町景観まちづくりワークショップ

【日にちとテーマ】

- 第1回 6/15(土)
「まずは対象地区の現状を見てみよう」
- 第2回 8/3(土)
「地区の景観資源と課題を確認し、まちのビジョンを議論しよう」
- 第3回 8/31(土)
「まちのビジョンを実現するための行動計画を考えよう」
- 第4回 10/5(土)
「大井“歴まち”地区のまちづくりの目標と具体的な活動をまとめよう」



大井“歴まち地区”ワークショップ(WS)とは?

豊原市は平成20年度から景観法にもとづく景観まちづくりを進めています。具体的な議論を地域ごとに行い、平成25年度は大井町で取り組みます。また中山道宿場町周辺は、歴史的風致維持向上計画の重点地区(通称「歴まち」)に指定され、歴史を活かしたまちづくりに対する国の支援を受けることができます。こうした背景も踏まえ、この地域のこれからのまちづくりを住民の皆さんと自分ごとで考え、具体的な計画や提案をつくっていくために、ワークショップ(WS)という形で進めていきます。その運営は豊原市都市整備課と早稲田大学が行います。

WSの目的と流れ

WSは誰でも自由に意見を述べ、共同で作成できるよう工夫された活動です。4回のWSで、以下の3点を決めていきます。

- ①まちの将来像を思い描く
- ②実現に向けた行動計画を提案する
- ③「歴まち」事業の活用方針を決める

大井“歴まち地区”WSの流れ

- 第1回 6/15(土)
「まずは対象地区の現状を見てみよう」
- 第2回 8/3(土)
「地区の景観資源と課題を確認し、まちのビジョンを議論しよう」
- 第3回 8/31(土)
「まちのビジョンを実現するための行動計画を考えよう」
- 第4回 10/5(土)
「大井“歴まち”地区のまちづくりの目標と具体的な活動をまとめよう」

今回行ったこと

大井自治会館にて13名の参加がありました。3つのグループに分かれて、主に2つのワークを行いました。

13:30 目的・プログラムの確認・前回の振り返り
 13:45 Work1 大井“歴まち”地区のまちづくりの目標と基本方針を確認しよう
 14:15 Work2 まちづくりコンサルタントになったつもりで、大井町のためのプロジェクト提案をつくろう
 16:05 発表・意見交換

Work1の成果 大井“歴まち”地区のまちづくりの目標と基本方針を確認しよう

これまでのWSから、まちづくりの目標は「常住人口・交通人口の増加」であると、ほぼ合意できています。また、前回のWSでは、まちの資源を活かしてどのようなことができるか話し合いました。work1では、第2回と第3回WSの内容を基に早稲田大学が考えた5つの基本方針を確認するとともに、まちづくりの目標を表すキャッチフレーズを考えました。

各グループが出したキャッチフレーズや基本方針の言葉の表現については、内容については合意できたので言葉の表現は事務局に一任することとなりました。

グループ3から発表について訂正案が出ました。

- ①自然の恵みに感謝し、季節を楽しむまち
- ②様々な世代・人との出会いを大切にすまち
- ③ふるさとを愛するまち
- ④暮らしと遊びが楽しめるまち
- ⑤にぎやかなまち



ワークショップ 「大井町 暮らしの歳時記」

	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
行事	大井町祭											
担い手	大井町民											

評価軸④-1

文化財の保存又は活用に関する事項

項目	評価対象年度	平成25年度
	現在の状況	
文化財の修理(整備を含む)	<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手	

文化財の修理や整備にあたっては、文化財の種類に応じ、関係法令を遵守し、適正な手続きによる対応をすることとする。また、修理にあたっては史料に基づいた修理を基本とし、周辺の文化財等の整備状況と整合させながら整備を行うものとする。
 一般的方針は「①恵那市全体に関する事項」とおりであるが、城下町岩村地区においては、「重要伝統的建造物群保存地区」、「岩村藩鉄砲鍛冶加納家」、「木村邸」、「岩村城跡」、「岩村町秋祭行事」について、順次事業を実施する。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

市指定文化財岩村藩鉄砲鍛冶加納家、木村邸の保存修理を行った(3頁・5頁参照)。
 市指定文化財浄光寺本堂の修理(実施設計)を行った。
 県史跡大井宿本陣跡の門の修理が完了した。

進捗状況 ※計画年次との対応

実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)

- 計画どおり進捗している
- 計画どおり進捗していない

状況を示す写真や資料等



実施設計に助成を行った浄光寺本堂



修理前



修理後

大井宿本陣跡 門の修理

評価軸④-2

文化財の保存又は活用に関する事項

		評価対象年度	平成25年度
項目		現在の状況	
文化財の防災		<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手	

文化財を火災や盗難から守るためには、文化財及びその周辺の状況を事前に把握しておく必要があるため、消防本部、警察署等と市内の文化財について建造物を中心に所在場所の情報を共有し連携を強化するとともに、査察を行ったり啓発ポスターを配布したりすることにより予防に努め、主要な建造物の消火訓練や連絡体制の確認を行い文化財の防火防災に対する意識の高揚を図る。
 盗難、毀損等の人的な災害に備えるため、担当課署は歴史的建造物のパトロールを随時行う。
 また、消防設備の整備にあたっては、周辺の景観に調和したものとし、今後修理が行われる「岩村藩鉄砲鍛冶加納家」や「木村邸」については、火災報知機等の設備の設置を行う。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

11月3日、秋の火災予防運動にちなみ、岩村町本通りは、重要伝統的建造物群保存地区内では火災予防パレードを実施。
 1月28日、文化財防火デーの取り組みとして国重要文化財の本殿がある武並神社(大井町)で、防火訓練を行った。
 岩村藩鉄砲鍛冶加納家の修理事業では、火災報知器を新たに設置した。

進捗状況 ※計画年次との対応

実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)

- 計画どおり進捗している
- 計画どおり進捗していない

状況を示す写真や資料等



地域住民による火災予防パレード
平成25年11月3日



敷地内のポンプ設備を使った放水訓練

初期消火のバケツリレー訓練

武並神社(大井町) 防火訓練
平成26年1月28日

評価軸④-3

文化財の保存又は活用に関する事項

	評価対象年度	平成25年度
項目	現在の状況	
文化財の普及・啓発	<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手	

計画に記載している内容
 市民が市内各地に点在する文化財等の地域資源を生涯学習として学ぶ機会を作り出すことにより文化財保護の普及・啓発に努める。
 市内の小中学校の児童・生徒に、地域の祭礼等伝統行事を郷土学習として学ぶよう学校を通じて依頼することにより担い手をつくり、伝統的な祭りを維持していく。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

市民が市内各地に点在する文化財等の地域資源を生涯学習として学ぶ機会を創り出すことにより文化財保護の普及・啓発に努めた。

進捗状況 ※計画年次との対応

実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)

計画どおり進捗している
計画どおり進捗していない

状況を示す写真や資料等

平成25年度に行った主な行事		
7月27日	岩村城跡清掃活動	70名
8月24日	第29回いわむら城址薪能	300名
10月27日	東野歌舞伎公演	150名
11月2日	第17回言志祭佐藤一斎まつり	100名
1月19日	行在所 手作り教室(昔あそび)	15名
3月1日～4月3日	第12回いわむら城下町のひなまつり	3万名



「城下町ホットいわむら」、「岩村城再建構想実行委員会」の共催で行われた岩村城跡清掃活動。7月27日に行われた作業で本丸石垣の草取りをしている様子。



岩村城跡の麓(ふもと)岩村城藩主邸跡で行われた、いわむら城址薪能(8月24日)



東野歌舞伎保存会、東野小学校歌舞伎クラブによる東野歌舞伎公演(10月27日)



岩村藩主邸跡で開催された言志祭佐藤一斎祭り(11月2日)

評価軸⑤-1

効果・影響等に関する報道

報道等タイトル	年月日	掲載紙等
テープカット日本一 恵那市岩村町	H25.4.19	岐阜新聞
伝統建築のまちにぎわう 恵那いわむら城下おかげまつり	H25.11.7	中日新聞
観光客らバザー楽しむ 恵那岩村町でおかげまつり	H25.11.7	岐阜新聞
由緒ある人形 城下町に並ぶ	H26.3.3	岐阜新聞

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

岩村本通りで11月3日、「2013いわむら城下おかげまつり」を開催。昨年同様、約1万3,000人の来場者があり、城下町が大いに賑わった。
 今年は、岩村駅から本町三丁目までが遊歩道となり、領家から本町までの至るところで企画やイベントが繰り上げられた。

進捗状況 ※計画年次との対応

実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)

- 計画の進捗に影響あり
- 計画の進捗に影響なし

状況を示す写真や資料等

ほっと・ホット・もっと
いわむら
 2013 November
 発行/城下町ホットいわむら
 〒509-7403 恵那市岩村町263番地2
<http://www.hot-iwamura.com>
 平成25年11月15日発行 No.29
 成帯いわむら

CONTENTS

- ※いわむら城下おかげまつり特集
- ※(報告)飯羽間・富田地域の座談会
- ※(告知)岩村地域懇談会
- ※(新連載)いわむら歴史再発見 など

多種多彩な企画・イベントが一日に凝縮
11.3 いわむら城下おかげまつり
大盛況
明日への賑わい

ほっと・ホット・もっと いわむら(通称ホットいわむらだより)
 フリーペーパーに掲載された「2013いわむら城下おかげまつり」

評価対象年度	22年度～ 25年度
計画に記載している方針	<p>■歴史資源の魅力の向上及び活用の促進 地域の歴史資源に対する調査を順次実施し、必要に応じて復原や修理、修景を施すなど、長期的な視野で歴史資源の保全と活用に取り組んでいくものとする</p>
計画に記載している課題	<p>■文化資源のネットワークの構築及び新たな価値付けに関する課題 市民が地域の歴史文化を誇りに思い保全してもらうためには歴史資源の関連性をもたせたネットワークの構築が必要であるが、必要な調査が多くの地域で実施されていない状況である。</p>
対応する進捗評価項目とその推移	<p>①計画実現の体制 「歴史まちづくり連絡調整会議」を随時開催し、関係課間との連絡調整、事業施工に関する打合せを行った。</p> <p>③岩村藩鉄砲鍛冶加納家取得・修理事業 鉄砲鍛冶加納家の土地、建物を取得し調査を行い、修理方針に従った改修修理を行った。</p> <p>③木村邸整備事業 土蔵及び離れの修理改修と、増築部分の撤去、火災報知器の設置を行った。</p> <p>③岩村城跡蘭丸管理棟修理事業 担い手育成の拠点施設である岩村城跡蘭丸管理棟について、トイレの水洗化やバリアフリー対策のスロープ設置を行った</p> <p>③岩村駅前広場整備事業 老朽化したトイレの解体を行いバリアフリーに対応したトイレを新築、休憩所の整備を行うとともに、歩車道ブロック等設置した。</p> <p>③案内板設置事業(城下町岩村地区) 既存看板を撤去し、統一性のある案内看板、誘導看板を設置した。</p> <p>③案内板設置事業(宿場町大井地区) 現状の看板の状況と設置する案内板のデザイン等について検討した。</p> <p>③岩村城・岩村城下町・美濃国遠山荘総合調査事業 岩村城跡・城下町とこれに関連する市内の遺跡、有形文化財等の発掘調査・実測調査を行い、とりまとめ報告書を作成した。</p> <p>③八王子神社社殿拝殿保存修理補助事業 八王子神社拝殿の修理(屋根の葺替え、床下補修、畳替え)に対して助成を行った。</p> <p>③中山道保存修景整備事業 中山道沿線の清掃活動、イベント時の活動等に関して助成を行った。</p> <p>④文化財の修理(整備を含む) 岩村藩鉄砲鍛冶加納家、木村邸、大井宿本陣跡の門の修理、浄光寺本堂の修理(実施設計)を行った。</p> <p>④文化財の防災 秋の火災予防運動にちなみ、火災予防パレードを実施。文化財防火デーの取り組みとして、防火訓練を行った。</p>
方針の達成状況・課題の改善状況に関する評価内容(可能な限り定量的な評価を交えて自由記述)	<p>岩村城石垣修理や担い手育成の拠点施設である蘭丸管理棟修理事業を行ったことにより、担い手育成のための環境が整うとともに、険しい山城である城跡に訪れる観光客が増加した。</p> <p>平成20年から24年において、岩村城跡石垣悉皆調査、岩村城跡植生調査、中近世石塔調査、岩村城跡発掘調査、岩村城・城下町範囲確定のための分布調査を行った。発掘調査後、崩壊の危険性の高い石垣の修理が行われた。地域のボランティアによる草刈り・清掃作業も継続的に実施されており、地域の歴史的風致の維持が図られている。</p> <p>岩村藩鉄砲鍛冶加納家、木村邸などの文化財は修理と一緒に解体時には調査も実施され、修理完了後は一般公開に向けた保存と活用に取り組み、歴史的価値を高めていくことができた。</p> <p>また、駅前広場の整備や案内板の設置により、まちなかの回遊性が高められている。</p> <p>○市指定文化財件数(24年4月1日→25年4月1日) 平成24年 329件 平成25年 331件</p>

<p>達成状況の評価、要改善事項</p>	<p> <input checked="" type="checkbox"/> 想定通り効果が発現している <input type="checkbox"/> 今後発現が予想される <input type="checkbox"/> 要対策検討 <input type="checkbox"/> 現段階では判断できない (要改善事項) </p>
<p>計画見直しの必要性</p>	<p> <input checked="" type="checkbox"/> 計画の見直しが不要 <input type="checkbox"/> 計画の見直しが必要 (見直しの理由・方針) </p>

総括評価シート【方針の達成状況等】

(様式2-1)

評価対象年度	22年度～ 25年度
計画に記載している方針	<p>■町並みの整備、保全 地域が有する歴史的な文脈を踏まえた歴史資源の修理・修景整備を進める。空き家を活かし、町並みが途切れないようにすることにより町の魅力を高めていく。</p>
計画に記載している課題	<p>■歴史的建造物、町並みの保存に関する課題 歴史的な趣の残る建築物の取り壊しが行われ、空き家の増加が町並みの連続性を失う要因となっており大きな課題となっている。 ■まちなかに見られる景観阻害要因に関する課題 張り巡らされた電線類や屋外広告物など景観阻害要因が増えてきており、歴史的風致の維持及び向上を図る上で大きな課題となっている。</p>
対応する進捗評価項目とその推移	<p>①計画実現の体制 「歴史まちづくり連絡調整会議」を随時開催し、関係課間との連絡調整、事業施工に関する打合せを行った。 ②景観形成に関する取組みについて 恵那市景観条例、施行規則の施行。景観重要建造物・景観重要樹木の指定に向けたアクションプラン、屋外広告物条例の制定に向けた検討についての審議を行った。 ③岩村城石垣修理事業 障害木の伐採と、危険性の高い箇所等の調査を行った。 ③木村邸整備事業 土蔵及び離れの修理改修と、増築部分の撤去、火災報知器の設置を行った。 ③岩村城下町まちなみ保存事業 重要伝統的建造物群保存地区内の家屋の保存修理に対して助成を行った。 ③岩村駅前広場整備事業 老朽化したトイレの解体を行いバリアフリーに対応したトイレを新築、休憩所の整備を行うとともに、歩車道ブロック等設置した。 ③電線類の地中化とまちなか道路(街路灯含む)修景事業 電線類の地中化にあわせて道路の美装化と街路灯の付替えを行った(延長1230m) ③景観形成に関する取組みについて 地域ワークショップの開催等を通じて地域毎の景観の形成に関する基本方針や行為の制限について検討を行った。 ③歴史的町並み修景整備助成事業 ワークショップにて、建物調査、まちあるきを行った。 ③ポケットパーク整備事業 ワークショップにて、活用方法、管理方法、整備方針について検討した。 ③道路美装事業 ワークショップにて、施工内容について検討した。</p>
方針の達成状況・課題の改善状況に関する評価内容(可能な限り定量的な評価を交えて自由記述)	<p>伝統的建造物の建築物の修繕助成、電線類地中化と道路美装・街路灯の付替えにより、まちなかから城山への景観が良くなった。 伝統的建造物の修繕は、平成10年度から平成22年度までに修理77件・修景37件、平成23年度に修理4件、平成24年度に修理6件を実施した。これにより、まち並みに連続性が生まれ町の魅力が向上し、来訪者が増加するなど効果が波及した。 景観形成については、平成25年は景観審議会にて、恵那市屋外広告物条例の制定に向けた審議を行った。制定後の景観の向上が期待される。</p> <p>○伝統的建造物の建築物 185件→187件 ○空き家の活用件数 2件(住宅として活用) ○いわむら城下おかげまつり来場者 平成23年 約 5,000人 平成24年 約13,000人 平成25年 約13,000人</p>
達成状況の評価、要改善事項	<p>■想定通り効果が発現している <input type="checkbox"/> 今後発現が予想される <input type="checkbox"/> 要対策検討 <input type="checkbox"/> 現段階では判断できない</p> <p>(要改善事項)</p>
計画見直しの必要性	<p>■計画の見直しが不要 <input type="checkbox"/> 計画の見直しが必要 (見直しの理由・方針)</p>

総括評価シート【方針の達成状況等】

(様式2-1)

評価対象年度	22年度～ 25年度
計画に記載している方針	<p>■歴史的風致に対する市民意識の向上 歴史的風致の維持及び向上を行うための担い手である市民の意識の向上を図るため、地域活動組織やNPO等と行政の協働による歴史的風致を活かしたまちづくりを進める。</p>
計画に記載している課題	<p>■文化資源のネットワークの構築及び新たな価値付けに関する課題 市民が地域の歴史文化を誇りに思い保全してもらうためには歴史資源の関連性をもたせたネットワークの構築が必要であるが、必要な調査が多くの地域で実施されていない状況である。</p> <p>■文化財の保存・活用を行うための施設に関する課題 町屋等在来の建物を活用した公開施設は、各施設の特色が明確化されていない点が課題である。 文化財に関する説明板や案内表示については、説明板は一部の指定文化財にあるのみで、現地での所在がわかりにくく、個別の表示のほかに現地までの案内表示が課題である。</p>
対応する進捗評価項目とその推移	<p>③岩村藩鉄砲鍛冶加納家取得・修理事業 鉄砲鍛冶加納家の土地、建物を取得し調査を行い、修理方針に従った改修修理を行った。</p> <p>③木村邸整備事業 土蔵及び離れの修理改修と、増築部分の撤去、火災報知器の設置を行った。</p> <p>③案内板設置事業(城下町岩村地区) 既存看板を撤去し、統一性のある案内看板、誘導看板を設置した。</p> <p>③案内板設置事業(宿場町大井地区) 現状の看板の状況と設置する案内板のデザイン等について検討した。</p> <p>③ふるさと文化普及継承事業 地域住民や学校などに働きかけイベントや講習会を実施した。</p> <p>③歴史まちづくり推進事業 まちづくりワークショップを開催し、行動計画について具体的に議論した。</p> <p>④文化財の普及・啓発 市民が市内各地に点在する文化財等の地域資源を生涯学習として学ぶ機会を創り出すことにより文化財保護の普及・啓発に努めた。</p>
方針の達成状況・課題の改善状況に関する評価内容(可能な限り定量的な評価を交えて自由記述)	<p>鉄砲鍛冶屋加納家、木村邸の整備・修理事業については、解体時に学術調査を行うとともに、一般の方にも参加を呼びかけ見学会を行い、歴史的風致維持に対する市民の理解を深めることができた。</p> <p>案内看板について、統一性のある景観に配慮した看板を設置したことにより、施設の説明や所在などが明確になった。</p> <p>歴史的風致維持向上計画に基づく事業を実施するにあたり、市民に参加を呼びかけてワークショップを開催した。ワークショップでは歴史的風致形成建造物(候補)を保存するための利活用案、まち並みの連続性を阻害する空き地の利活用等について活発に発言があり、住民意識の向上につながった。</p> <p>○ワークショップ参加人数 第1回25名 第2回19名 第3回22名 第4回13名</p>
達成状況の評価、要改善事項	<p>■想定通り効果が発現している □今後発現が予想される □要対策検討 □現段階では判断できない</p> <p>(要改善事項)</p>
計画見直しの必要性	<p>■計画の見直しが不要 □計画の見直しが必要 (見直しの理由・方針)</p>

総括評価シート【方針の達成状況等】

(様式2-1)

評価対象年度	22年度～ 25年度
計画に記載している方針	<p>■歴史的風致を維持する伝統文化の担い手の育成 担い手の育成のため、誰もが気軽に学び、触れることができる拠点施設を設け、後世に正しい形で地域の歴史と文化を継承できるようにする。 市内の歴史的風致を継承する団体に対し支援を行う。</p>
計画に記載している課題	<p>■伝統行事など地域の歴史文化を支える担い手不足に関する課題 地域の歴史、伝統文化を受け継ぎ、地域の一体性を確保するため、担い手不足をどのように補い、多くの人に参加してもらうかが課題となっている。</p>
対応する進捗評価項目とその推移	<p>③岩村城石垣修理事業 一ノ門～土岐門の間を中心として、19本の障害木の伐採と、危険性の高い箇所等の調査を行った。 ③祭礼復興事業（武並宮御祭礼規定に基づく祭礼） 岩村町秋祭行事の祭礼衣装、祭具の修繕や足袋、草履等の購入に助成した。 ③ふるさと文化普及継承事業 地域住民や学校などに働きかけイベントや講習会を実施した。 ④文化財の防災 秋の火災予防運動にちなみ、火災予防パレードを実施。文化財防火デーの取り組みとして、防火訓練を行った。 ④文化財の普及・啓発 市民が市内各地に点在する文化財等の地域資源を生涯学習として学ぶ機会を創り出すことにより文化財保護の普及・啓発に努めた。</p>
方針の達成状況・課題の改善状況に関する評価内容(可能な限り定量的な評価を交えて自由記述)	<p>城下町ホットいわむら・岩村城を守る会・岩村城再建構想実行委員会の共催で行った清掃活動では、ボランティアスタッフ約70人の参加があり、石垣や登城道の清掃を行い、地域の多くの人々が清掃活動を通じて歴史に触れる機会となった。 祭礼復興事業の助成では、子ども用シューズ等を購入し、小中学生が地域の伝統行事の祭りに参加することにより、担い手となっていけるような機会を作り出すことができた。 ふるさと文化普及継承事業では、小学校で地域の伝統芸能の体験を行うなど歴史文化に関心を持ってもらうことができた。</p> <p>○岩村城清掃作業参加ボランティア 70人 ○神輿渡御行列 総勢300人 氏子・地域の役員・岩邑小学校児童・岩邑中学校生徒</p>
達成状況の評価、要改善事項	<p>■想定通り効果が発現している □今後発現が予想される □要対策検討 □現段階では判断できない</p> <p>(要改善事項)</p>
計画見直しの必要性	<p>■計画の見直しが不要 □計画の見直しが必要 (見直しの理由・方針)</p>

評価対象年度 23年度～ 24年度

・歴史的風致維持向上施設の整備・管理

代表的な取り組み①:

電線類の地中化とまちなか道路(街路灯含む)修景事業

(取り組み概要)

重要伝統的建造物群保存地区を通る岩村町本通りの電線類の地中化(延長1230m)を行った。また道路美装と街路灯の整備を行うことにより、沿道の歴史的建造物との調和を図り、町並みの美観を高めることができた。平成23年度は、共同溝の埋め込みが終了し、街路灯の設置を行った。また、一部配線の引き込みと、抜柱が行われた。平成24年度は、道路舗装の工事を行い、周囲の景観に併せたカラー舗装をした。街路灯についても、新規に町並み景観に調和した街路灯に取替えを行うことにより、より歴史・城下町を感じられる町並みとなり、観光に訪れる人が増加した。

整備前



整備後



H25いわむら城下おかげ祭り



(自己評価)

電線類地中化と道路美装・街路灯の付替えにより、まちなかから城山への景観が良くなった。25年に行った岩村町のまちづくりに関するアンケート調査では、岩村町の魅力を「重要伝統的建造物群保存地区の町並み」と答える声も多く、居住満足度も昨年と比べ増加したことから事業に対する住民の評価の高さがうかがえる。

岩村本通りで行われたおかげまつりでは、昨年同様の来場者があり、魅力的な町並みをPRできた。

(外部評価)

・外部有識者名(役職・肩書き等):名古屋大学大学院工学研究科助教・堀田典裕

・外部評価実施日:平成26年3月24日

・有識者コメント 通り沿いの町家の個性は、軒下空間における細やかな差異に集約されることがあるが、ここ岩村町本通り地区においても、持ち送りの装飾・格子・ショーウィンドー・暖簾などが各家の軒下空間を飾り、それらの建築年代や過去の生業の様子を今に伝えている。今回の電柱地中化事業は、何よりもこうした軒下空間のデザインの多様性を、一層観察できるようにし、来訪者に眼を飽かさなだけでなく、住民が町づくりに積極的に関与するための契機を創出しているように思われる。また、今回の事業において設けられた街路灯は、上方に光源を持つ既存の街路灯を撤去し、より下方に光源を設けることで、上記の軒下空間に関する演出効果にひと役買うものでもある。当該地区における電線類の地中化事業は、坂道沿いであるため軒下が階段状に不連続になり配線が不可能であること、川が流れているなどの理由から住宅裏手に電線の移設が不可能であることが、消極的事由でもあったと言う。しかしながら、観光推進の最中に行われた電線地中化という土木スケールの事業は、軒下空間という建築スケールに来訪者と住民の眼を向けることに成功しており、大いに評価できるものである。なお、本通り地区を中心とする町並みの回遊性を考えれば、地区内のサイン計画が望まれる他、軒先を塞ぐ路上駐車への対策が必要であろう。

評価対象年度	23年度～ 25年度
・歴史的風致維持向上施設の整備・管理	
<p>代表的な取り組み②:</p> <p>岩村藩鉄砲鍛冶加納家取得・修理事業</p>	
<p>(取り組み概要)</p> <p>加納家は文化11年に岩村藩に召し抱えられた。建物はその頃のもので、鉄砲の製作は天保2年から始まった。平成23年度に鉄砲鍛冶加納家の土地、建物を取得し、各建物の調査を行い修理方針を決定し、実施設計を行った。平成24年度は、修理工事に着手した。後補部材の解体と並行して痕跡調査と実施し、修正された修理方針に従い、設計の見直しと修理を進めた。平成25年度は、昨年に引き続き耐震補強工事や修理方針に従った改修修理を行った。建物本体は平成25年7月に完成した。地域のまちづくり組織を指定管理者として平成26年4月から一般公開を行う。</p> <p>一般公開の様子</p> 	
<p>(自己評価)</p> <p>鉄砲鍛冶加納家の整備・修理事業については、解体時に学術調査を行うとともに、一般の方にも参加を呼びかけ見学会を行い、歴史的風致維持に対する市民の理解を深めることができた。場所が旧武家町の入り口にあるため、案内をすることにより重点区域内の回遊性の向上に寄与することができる。また、建物を公開することにより、町の魅力が高まることが期待される。</p>	
<p>(外部評価)</p>	
<p>・外部有識者名(役職・肩書き等):名古屋大学大学院工学研究科助教・堀田典裕</p>	
<p>・外部評価実施日:平成26年3月24日</p>	
<p>・有識者コメント 当該建物は、本通り地区と新道地区を結ぶ坂道の途中にあり、桁形からも近く、来訪者の新町地区方面への回遊性を誘う上で重要な立地にある。この点で、鬼瓦に狛犬を載せる屋根、漆喰塗籠のツシ二階と一階軒裏部分、整備によって全面格子とされた通り側の立面が、周辺景観に与える影響は大きく、整備・修理事業として成功していると言える。附近には、同種の建物が認められ、今後の一体的な整備が望まれる。鉄砲鍛冶の町家については、不明な部分も多いが、ここでは痕跡調査と聞取調査に基づいた無理のない復元が行われている。また、敷地の最奥部に遺された離れは、簡素な建物で、建築史上の価値は特に認められないが、敷地端部を囲い込む役割を考えれば重要である。今回の整備・修理事業において保存されたことは、通り側同様に評価されるべきであるとともに、ギャラリーとして地域に開放され、地域住民によって活用されている点は高く評価できる。しかしながら、今後当該建物を一般公開することを考えれば、来訪者を敷地最奥部に導き、建物群として一体的に利用するためのプログラムを創出する必要がある。その際、今回の整備・整理事業は建物が中心であったが、主屋、土蔵・浴室棟、離れという建物群を結ぶレベルの異なる二つの中庭に関する造園整備が、重要になると思われる。</p>	
<p>(今後の対応方針)</p>	

評価対象年度	平成22年度～平成25年度
・法定協議会等におけるコメント	
コメントが出された会議等の名称: 恵那市歴史的風致維持向上計画協議会	
会議等の開催日時: 平成26年5月15日	
<p>(コメントの概要)</p> <p>①城下町岩村地区について これまで城下町岩村地区では個々の箇所及び歴史的風致の保存保全の整備に力を入れたことにより成果をあげている。今後はこれまでの成果を持続させるため整備した施設の利活用にも力を入れていく必要がある。 そのためにも利活用を支える地域住民によるイベントを継続していくための仕組みづくりの検討が必要である。</p> <p>②宿場町大井地区について 宿場町大井地区において整備する箇所については、地域住民の利便性が向上し、年配者等周辺で生活する人の集いの空間となる等、生活文化自体に対する支援となるような整備を実施することが重要であろう。 地域住民と来訪者の交流、観光振興にも連動していくと考えられる。</p>	
<p>(今後の対応方針)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・これまでの成果を継続するための仕組みづくりが必要。 ・これから実施するものについては、歴史的風致の観点だけでなく、市民の生活や観光振興に寄与するよう関係部署と連携することが必要。 	